（研究者\_様式２）

平成29年度卓越研究員事業研究計画等

1. **卓越研究員として取り組みたい研究テーマ**

|  |
| --- |
| **＜＜研究目的・内容（課題設定・問題意識等を含む）＞＞**本欄には、取り組みたい研究に関する全体構想の具体的な目的及びその内容について、適宜文献を引用しつつ記載し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。なお、一覧化公開されたポストを提示した機関との当事者間交渉の中で、機関と調整した結果、研究内容を修正することも排除されません。○　研究の学術的又は社会的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、着想に至った経緯、課題設定・問題意識の裏付けとなる根拠等）○　問題の核心は何であり、どのように明らかにしようとするのか○　当該研究の背景となる課題設定・問題意識。また、これらによりどのような成果が見込まれるか。また、その成果を踏まえて、どのような新たな研究領域等の開拓につなげていくのか。これまでの研究成果を他分野・業種で活用・展開していく場合はその内容。※様式の変更・ページの追加は不可とする。 |

**【研究目的・内容】**

**【研究目的・内容（つづき）】**

**①卓越研究員として取り組みたい研究テーマ**

|  |
| --- |
| **＜＜研究計画・方法＞＞**本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、適宜文献を引用しつつ記載してください。特に、次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。1. 本研究を遂行する上での具体的な工夫（研究を進める上でのアイディアの独自性、創造性、新規性等）
2. 研究室主宰者としての研究体制の構想（ポストドクターや大学院生の配置等も含め、どのような体制で研究を実施することを想定しているか。企業の場合には、プロジェクトのマネージャーとして、どのようにチームをつくり、どのような体制で実施することを想定しているか。）
3. 長期的な研究計画の実行のために直近２年間で実施すべき研究の計画・方法
4. 産学官の多様な研究機関で活躍する上で、研究機関の多様な要請に対する抱負（研究機関の多様な要請に応じて実行し発展させるときに、どのような学識や技術を有しており、その実施によって新しい問題を発見することができると思うか。）

※様式の変更・ページの追加は不可とする。 |

**【研究計画・方法】**

**【研究計画・方法（つづき）】**

**①卓越研究員として取り組みたい研究テーマ**

|  |
| --- |
| **＜＜将来的に研究の成果が社会に与える重大性＞＞**本欄には、研究目的を達成した場合、その成果が人間の生活や社会等にどのような重大なインパクトを与えるものであるかについて具体的に記載してください。なお、当該分野の専門家ではない者に対しても理解が進むような記載を心掛けてください。※様式の変更・ページの追加は不可とする。 |

**【将来的に研究の成果が社会等に与える重大性】**

**②研究業績**

|  |
| --- |
| **＜＜研究業績（特筆すべき業績３件）＞＞**本欄には、これまでに発表した論文、著書、特許権等産業財産権、招待講演、受賞等の研究業績のうち、今回構想する研究に関連する、2012年以降の特筆すべき業績３点以内について、その受賞理由や書評なども引用しつつ、また、下記の注意事項に沿い、簡潔に記載してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記載する場合は、掲載が決定しているものに限ります。その他、今回構想する研究に関連する重要な業績については、次の≪その他の業績一覧≫に、産学連携等の経験については「③産学官の多様な研究機関での経歴・経験等」の項目に記載してください。　①　例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記載してください。②　以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、他を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、申請者には、下線を付してください。※様式の変更・ページの追加は不可とする。 |

【特筆すべき業績３件】

**【特筆すべき業績３件（つづき）】**

**②研究業績**

|  |
| --- |
| **＜＜その他業績一覧＞＞**今回構想する研究に関連する重要な業績について、2012年以降の業績を中心に、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、前頁までに記載した特筆すべき業績（３件）も含めて通し番号を付して記載して下さい。そのうち、特筆すべき業績として記入した３件については、該当する番号に○印を付して下さい。※様式の変更・ページの追加は不可とする。 |

【その他の業績】

*（記入例　※記載項目の構成は変更しても構いません。記入する際は削除してください。）*

**(1)学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書**

１）学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「（題名）」、『(掲載誌名）』、○○出版、○号、pp57－62、2012

２）麹町次郎、学振太郎、・・・ 「（題名）」、『(掲載誌名）』、○○出版、○号、pp33－39、2013

３）半蔵門花子、麹町次郎、学振太郎（6番目）、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、千代田三郎（○名省略）、「（題名）」、『(掲載誌名）』、○○出版、○号、pp10－25、2013

**(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説**

１）学振太郎・・・ 「（題名）」、『(掲載誌名）』、○○出版、○号、pp57－62、2012

**(3) 国際会議における発表**

１）○Gakushin T, Hanzoumon H,・・・ 「（題名）」、『(学会名）』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2013)

**(4) 国内学会・シンポジウム等における発表**

１）○学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「（題名）」、『(学会名）』、No.200、仙台、2013年9月

**(5) 特許**

１）（特許の番号）号、「（名称）」、麹町治郎、学振太郎、2013年4月

**(6) その他（受賞歴等）**

１）学振太郎・・・「（賞の名称）」、2013年4月

**【その他の業績（つづき）】**

**③産学官の多様な研究機関での経歴・経験等**

|  |
| --- |
| **＜＜経歴・経験等＞＞**本欄には、産学官の多様な研究機関での活躍が期待されることが分かるよう、大学及び大学共同利用機関以外の機関（企業、公設試験研究機関等）における研究者としての勤務経験、最低３カ月以上のインターンシップの経験、あるいは、海外の研究機関（大学を含む）に３カ月以上所属し、研究に従事した経験など、多様な研究機関での経歴・経験等について、時期（年月を含む）及び内容を記載してください。※様式の変更・ページの追加は不可とする。 |

【時期及び内容】

*（記入例　※記載項目の構成は変更しても構いません。記入する際は削除してください。）*

・2012年４月～2014年３月

　：～～研究所に勤務し、～～に関する研究を実施した。

・2014年９月～2015年２月

：～～研究所にて長期インターンシップに従事し、～～に関する研究において～～を担当した。